



かぜっこだより



2020年 11月6日 第8号 文責：納所小学校長 福田 浩一郎

学校教育目標 「心豊かに自ら学び 生き生きと活動する納所っ子の育成」

～ ともに 伸びる 教育活動の実現 ～



「の」…のぞみをもって がんばる子「う」…うつくしい心で 思いやりのある子「さ」…さわやかで たくましい子



全校朝会の話 11月4日(水)

11月の全校朝会を行いました。今回取り上げた話題は、①世界で最も貧しい大統領②七五三③唐津くんちの3つです。ご家庭での話題の一つに取り上げて頂けると、子ども達の印象に残るのではないのでしょうか。

①世界で最も貧しい大統領

ウルグアイという南米の国の、元大統領（2010年～2015年）ホセ・ムヒカ氏を紹介します。5年も前に大統領をやめているのに、なぜ今紹介するかというと、今年になって、国会議員を辞めるというニュースが流れたからです。今年で85歳になられる方で、自宅に水道がなく、月10万円ほどで生活されているそうです。これまでの収入の多くは、貧しい人のために寄付をされているそうです。この人が世界の注目を集めたのは、2012年6月に、ブラジルのリオデジャネイロで開催された国連の「持続可能な開発会議」でのスピーチからです。その後、大統領のスピーチ内容が世界のニュースになり、生活ぶりも紹介されて、「世界で最も貧しい大統領」と言われるようになりました。スピーチの一部を紹介します。

私たちは発展するために生まれてきたわけではありません。
幸せになるためにこの地球にやってきたのです。

人生は短いし、すぐ目の前を過ぎてしまいます。
命よりも高価なものは存在しません。

貧乏な人とは、少ししかものを持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことだ。

ムヒカ氏の言葉は、本や絵本、DVDなどでたくさん出されています。図書室にも右の写真の絵本がありました。4年前に納入されていました。また、子どもたちへのメッセージもたくさん出されています。その一つを紹介します。子ども達の心のどこかに残ることを期待しています。



人生では何千回と、いろんなことで転びます。

愛で転び、仕事で転び、いま考えているその冒険で転び、実現しようとしている夢でも転びます。

でも、それには千と一回立ち上がり、一からやり直す力があなたにはあります。その道が実は一番大事だからなのです。

②七五三

11月には、七五三のお参りに行く風習が残っていますね。七五三の起源を調べてみると、平安時代(約1500年前)だそうです。ただ、時代によって行事としての内容や時期は、変遷してきたようですが、現在の形になってきたのは、江戸時代だったようです。

なぜ、子どものお祝いをするのかということ、昔は病院が発達していなかったこと、食べ物が少なかったこと、流行病(はやりやまい)が広がり、亡くなる子が多かったことなどの理由から、乳幼児の死亡率が高かったようです。それで、3歳から節目ごとにお祝いをしたようです。昔の人々も子どもたちの成長をととても願っていたことが分かります。



年齢	名称	内容
3歳	髪置(かみおき)の儀	男女とも髪を伸ばし始める (病気予防のために3歳まで丸坊主にしていました)
5歳	袴着(はかまぎ)の儀	男の子が袴を着る 幼児から少年へ節目とする
7歳	帯解(おびとぎ)の儀	女の子が帯を締める着物に変える 大人と同じ服装 (それまでは、ひもで着物を整えていました)

③唐津くんち

『唐津くんち』と言えば、曳山(ひきやま)を思い出しますが、唐津神祭として、約350年前に神輿(みこし)を使って行われていたようです。曳山を曳くことが始まったのは、約200年前からです。曳山の数は、少しずつ増えて、15台になったと記録されています。現在は、14台が町を回っていますね。『唐津くんち』は、曳山を曳くお祭りのように思われがちですが、農作物の収穫に感謝し、神様にお礼をすることが趣旨のようです。収穫によって、食べ物が手に入り、みんなが幸せになれるという事だと思います。

今年は、曳山を曳かないことになり、寂しい気もしますが、仕方ないことですね。

以上の3つの話題の共通点は、誰もがみんなの幸せを願っているという事です。皆さんにやってほしいことは、身近にいる人が喜ぶような、声掛けや態度をしてほしいという事です。どの学年も同じように頑張ってくれば、納所小のみんなが、嬉しい気持ちになります。みんながうれしいと、皆さんの家族が、幸せだなあと感じると思います。そんな納所校区になるといいなと思います。



唐津焼に挑戦しました。

今年も岸岳窯三帰庵の富永祐司様にご指導いただき、全校児童が唐津焼に挑戦しました。密集しないように、全校児童を2つのグループに分け、2時間ずつで行いました。富永先生には、長時間、子ども達に指導に当たっていただきました。大変ありがとうございました。

納所小の全校で作り始めたのは、5年前からです。富永先生が高学年対象に指導に来てくださったのは、平成23年からだそうです。10年目だということです。子ども達のために、大変ありがたいと思います。焼きあがった作品は、きっとみんなの思い出に残るものになると思います。

